

# 地域創生総合ビジョン

鏡石町 まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成28年3月

鏡石町



# 目次

1. 計画策定の基本的な考え方.....	1
(1) 策定の背景とねらい.....	1
(2) 鏡石町総合計画と地方版総合戦略の関係について.....	3
2. 人口の将来展望を踏まえた目指すべき将来像.....	4
3. 基本目標と基本的方向 .....	5
(1) 基本目標 .....	5
(2) 基本的方向 .....	5
4. 具体的な施策と事業 .....	7
基本目標 1 安心して子育てができる結婚・出産・子育てのトータルな環境を整え、 若者の心をつかむ .....	7
基本目標 2 町の魅力を高め、アピールすることでのぎわいを生み交流を盛んにする ....	1 2
基本目標 3 日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、定住条件を整える .....	1 6
基本目標 4 住みやすい住宅地を形成し転入増を図る .....	2 2
プラスワン 連携中枢都市圏への推進 .....	2 5
5. 効果検証の仕組みづくり .....	2 7



# 1. 計画策定の基本的な考え方

## (1) 策定の背景とねらい

国は、人口急減・超高齢社会の到来、更なる少子化の進行などを背景に、人口の現状と将来の姿を示し、今後取り組むべき将来の方向を提示する「長期ビジョン」と人口減少を克服し、将来にわたり活力ある社会を実現するための「総合戦略」を提示しました。「総合戦略」では、若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現をはじめとする3つの視点を設け、「しごと」と「ひと」の好循環を実現するための、4つの目標を掲げています。

### 背景

- 日本の人口は2008年をピークに減少に転じ、今後加速度的に進む見込み。
- 人類史において類を見ない「人口急減・超高齢社会」がわが国に到来。
- 人口の東京一極集中は人口の再生産を鈍らせ、更なる少子化を招く。
- 平成26年5月、日本創生会議による「消滅可能性都市」の発表。

### 3つの視点

- ①若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ②『東京一極集中』の歯止め
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

### 「しごと」と「ひと」の好循環を実現するための4つの目標

- ①「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」
- ②「地方への新しいひとの流れをつくる」
- ③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
- ④「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」

## 総合戦略

「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、こうした国の流れを受け「地方版総合戦略」として策定するもので、これにより、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を創出します。

また、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出すことで、人口減少に歯止めをかけることを目指します。

なお、この計画は、西暦2060年を目指す「長期的なビジョン」と、当面5年間に実施すべき「短期的な総合戦略」の2つから成り立っています。

町は、目標に掲げた約50年後の超長期の将来像を見据えつつ、その将来像の実現に向けて着実な歩みを進めるための第1歩となる短期5か年戦略を明確に定めた、「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に実施していきます。

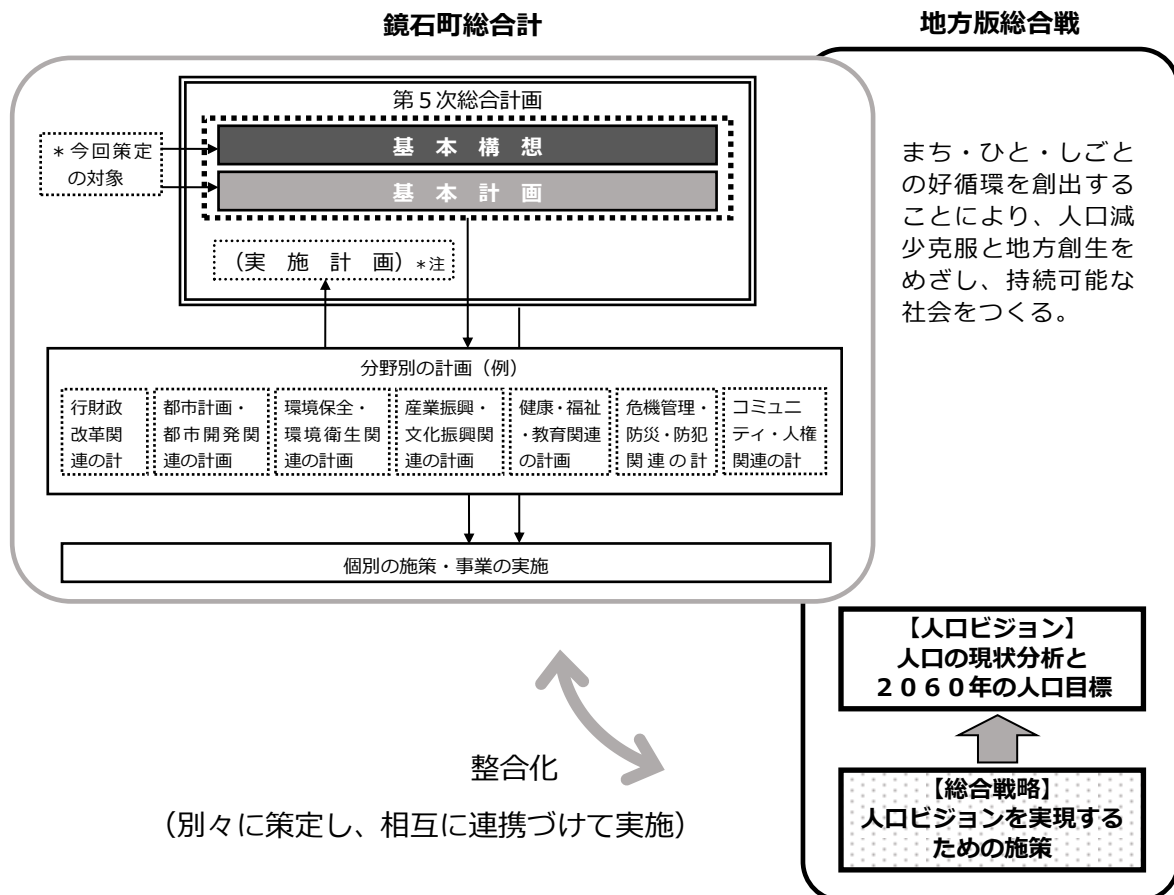
## (2) 鏡石町総合計画と地方版総合戦略の関係について

こうした背景とねらいのもとに策定する「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」ですが、町にはこれまで進めてきた「鏡石町総合計画」があります。

「鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、これまで進めてきた町全体の施策の総合集約版である「鏡石町総合計画」を踏まえたうえで、さらに特定の切り口（人口減少・少子高齢化対策）に限定した施策の上乗せ版として位置づけ、両計画を並行して策定し、相互に連携づけて実施するものです。

### 鏡石町総合計画と地方版総合戦略の関係

- 地方版総合戦略は人口減少克服・地方創生を目的としたものであり、総合計画は鏡石町の、総合的な振興・発展を目的とする。
- 両計画は、目的や実施すべき政策の範囲が必ずしも同一ではない。
- 総合戦略では数値目標と「重要業績評価指標（KPI）」を設定することが求められている。
- 以上の理由から、総合計画と総合戦略は切り離して整理し、別々に策定し、相互に連携づけて実施するものです。



## 2. 人口の将来展望を踏まえた目指すべき将来像

### <現状分析>

2010年に12,815人とピークを迎えた町の人口はその後減少に転じ、このままでは2060年には9,402人まで減少することが予測されています。

その際の高齢化率は36.4%に達し、2015年現在の高齢化率である24.5%を大きく上回り、町全体としての活力を維持することは難しくなることが考えられるため、人口減少と高齢化の双方について、早急な対応が求められています。

### <人口ビジョンの3つの視点>

1. 合計特殊出生率を2060年までに2.43まで上昇させることを目指します（2015年1.67）。
2. 2060年まで継続して安定的転入超過（年間20人）を目指します。
3. 区画整理による新たな市街地に2060年を目途に200世帯、800人の定着を目指します。

### <鏡石町の目標人口>

鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各種施策・事業等の実施により、2060年の目標人口として11,740人を目指します。

### <目指すべき将来の方向>

交通の便が良く、地価が安いなど町の利点を活かし、「コンパクトなまちづくり」を推進し、新しい定住の場と働く場を設け、若い世代を呼び込み、人口の維持につなげます。

## 将来像

通勤に便利で住むにも快適、  
子育てしやすい環境を備えた定住の町「鏡石」



### 3. 基本目標と基本的方向

#### (1) 基本目標

将来像を実現するための戦略的展開に向けたキーワードを踏まえ、次の4本柱プラスワン※からなる基本目標を設定します。

1. 安心して子育てができる結婚・出産・子育てのトータルな環境を整え、若者の心をつかむ

2. 町の魅力を高め、アピールすることでにぎわいを生み交流を盛んにする

3. 日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、定住条件を整える

4. 住みやすい住宅地を形成し転入増を図る

プラスワン 連携中枢都市圏への推進※

※鏡石町周辺15市町村による連携型圏域づくりに関するもの

#### (2) 基本的方向

4つの基本目標に対する基本的方向を以下のように定めます。

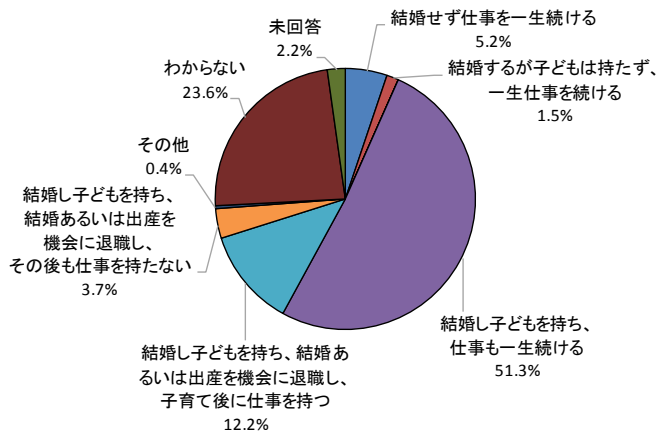
基本目標	基本的方向
1. 安心して子育てができる結婚・出産・子育てのトータルな環境を整え、若者の心をつかむ	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを育てる世代をさまざまな面から支援するとともに、体験やスポーツを通じた町独自の教育環境づくりに取り組みます。</li> <li>若い世代が住みたくなる、来たくなる環境づくりを進めるとともに、豊かな自然や農業のフィールドを提供した若い人の出会いの場づくりに取り組みます。</li> </ul>
2. 町の魅力を高め、アピールすることでにぎわいを生み交流を盛んにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存施設を有効に利用するとともに、町の魅力を発信する新たな施設の整備に取り組みます。</li> <li>町の魅力資源・イベントを内外へ発信・PRし、人を呼び込むとともに、町の産業の活性化と新規産業の誘導を図り、Uターン、Iターン希望者を呼び込みます。</li> </ul>
3. 日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、定住条件を整える	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民のだれもが利用できる安全で便利な交通環境を整えるとともに、生活面での危険性を低減し、安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。</li> <li>買い物がしやすく、生活が便利なまちづくりを進めるとともに、効率的できめ細やかな行政サービスに取り組みます。</li> <li>若い世代だけでなく、元気な高齢者も呼び込んだ健康長寿のまちづくりに取り組みます。</li> </ul>

<p><b>4. 住みやすい住宅地を形成し転入増を図る</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅東に通勤に便利で優良な住宅・宅地等の供給を促進するとともに、新たな転入者等に対し、居住の場の確保に取り組みます。</li> <li>・ 既存住宅等を居住や仕事の場等に活用するとともに、町の景観の改善に取り組みます。</li> </ul>
<p><b>プラスワン 連携中枢都市圏への推進</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鏡石町周辺15市町村と連携し、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積、圏域全体の生活関連機能サービスの向上などにより、連携中枢都市圏の形成を図ります。</li> </ul>

**次世代コラム**

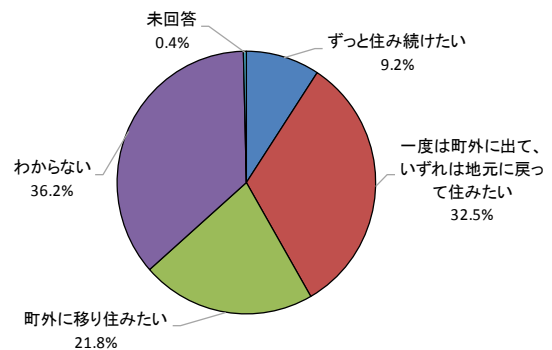
**■ 将来夫婦ともに働き、子育てをしたい**

69.7%が「将来結婚したい」。そして、「結婚し子どもを持ち、仕事も一生続ける（51.3%）」、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産を機会に退職し、子育て後に仕事を持つ（12.2%）」で、双方をあわせると63.5%が「将来夫婦ともに働き、子育てをしたい」と答えています。



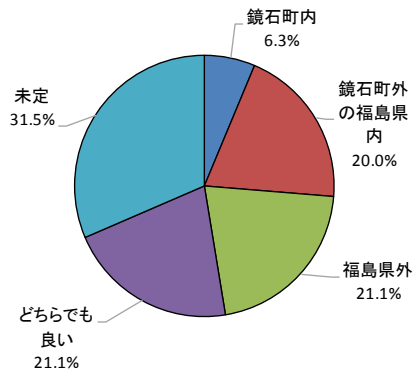
**■ 鏡石への定住希望やUターン需要が高い**

「ずっと住み続けたい（9.2%）」、「一度は町外に出て、いずれは地元に戻って住みたい（32.5%）」など、「町への定住希望は41.7%」にのぼります。「いずれは地元に戻って住みたい（32.5%）」は、「町外に移り住みたい（21.8%）」を上回り、「鏡石へのUターン需要が高い」ことがわかります。



**■ 鏡石に職がないことが不安**

将来の就職先の希望地は、「福島県内（20.0%）」と「福島県外（21.1%）」をあわせると41.1%。「町内」を希望する人はわずかに6.3%に過ぎません。町への定住希望やUターン需要が高いことを鑑みれば、鏡石に職がないことに不安を感じているのかもしれない。



出典：鏡石町中学生の将来等に関する意識調査結果（平成27年11月）より

## 4. 具体的な施策と事業

基本目標に対応した具体的な施策と事業は次のとおりです。

基本目標と施策には数値目標・重要業績評価指標（KPI）を設定し、講じた施策の効果検証を行っていきます。

### 基本目標 1.

#### 安心して子育てができる結婚・出産・子育てのトータルな環境を整え、若者の心をつかむ

出会いから、結婚、出産、そして子育てといった一連の流れが支障なくスムーズにでき、安心して子どもを産み育てられるよう町の環境を整えるとともに、保育から教育を終了し、子どもが仕事に就けるまでのビジョンが描けるまちづくりを進めることにより、若い世代の新規転入を呼び込みます。

若い世代から、「子育てしやすく心地よい町」、「子どもを育てたい町、高齢者も安心できる町」と呼ばれるような町、若者の心をつかむ町をつくりまします。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①合計特殊出生率	1.67	1.77
②子育て世代の転入超過数（人）	17	29

### 施策－1. 子育て期にある若い世代をさまざまな面から支援し、子育てしやすいまちづくりを進める

安心して出産できる環境づくりや乳幼児、子どもの保育の支援、安心して子育て環境づくりなど、子育て期にある若い世代をさまざまな面から支援し、子育てしやすいまちづくりを進めます。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①妊婦基本健診受診率（%）	96	100
②不妊治療に対する助成事業の利用件数（件/年）	0	10
③保育所の待機児童数を出さない（人）	0	0
④放課後児童クラブの利用率（%）	33	35
⑤一時預かり（園児を主に対象）（人/日）	828	833
⑥延長保育（人）	63	67

## 事業（◆新規、◇既存）

### ◆出生から子育てまで、鏡石パッケージ事業

#### <出生支援>

- ・妊婦健診の一部助成から完全無料化へ
- ・不妊治療に対する費用の助成
- ・安心して出産できる環境づくり
- ・子育てのための情報提供と交流の場の整備

#### <乳幼児、子どもの保育の支援>

- ・児童クラブの拡充（土、日曜日開館など）
- ・時間外保育、乳幼児保育の充実（一時、土日預かり保育、病休保育など）
- ・保育料（幼稚園料）、放課後児童クラブ保護者負担金の減免

#### <子育ての環境づくり>

- ・子どもと親が安心して楽しめる施設と環境づくり（親子ふれあいカフェの設置、身近なポケットパーク・子どもの遊び場、段差の少ない歩道、狭い歩道の拡張整備など）
- ・祖父母世代が豊かな人生経験を生かして、地域の子育てを応援する「子育て経験者によるサポート事業」の創設

### ◇町民の健康づくりと食の安全の確保対策

- ・健康増進の啓発と支援、感染症対策の推進、母子保健の充実、地域医療体制の充実、被災者の健康ケアの実施など、町民保健と健康づくりを支援する
- ・自家消費野菜等の食品放射能の測定など、食品等モニタリング事業を通じて食生活環境を守る

### ◇幼児教育、預かり保育の推進対策

- ・幼稚園教育や預かり保育に関する事業を推進する

### ◇児童福祉と子育て支援対策

- ・保育所の運営や支援、放課後児童クラブの運営、子ども手当の支給、児童虐待防止事業など、児童福祉と子育て支援対策を推進する

### ◇明日を担う人づくりと生涯学習の推進対策

- ・生涯学習文化協会と加盟団体の事業の支援、公民館における講座の開催、図書館での自主事業の実施、青少年育成町民会議の運営など、明日を担う人づくりと生涯学習を推進する

## 施策－２．体験やスポーツを通じた町独自の教育環境づくりを進める

牧歌的な自然がきれいで農業が盛んな町の特性を活かして、体験やスポーツを通じた町独自の教育環境づくりを進めることにより、若い世代に人気がある「楽しく安心して学べる町」にします。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①かがみいしスポーツクラブの会員数（人）	651	1,000
②体育施設の利用者数（人/年）	211,639	240,000
③スポーツ大会等（教育委表彰大会）で表彰された人数（人/年）	21	25
④各事業（スポーツ、農の魅力、特別授業）の参加者数		
④-1. スポーツ事業参加者数（人/年）	2,800	3,700
うち、スポーツ事業、ロードレース等（人）	1,600	1,700
うち、かがみいしスポーツクラブ事業（回数）	100	150
（人数）	1,200	2,000
④-2. 農の魅力事業参加者数（人/年）	0	30
④-3. 特別授業参加者数（人/年）	0	50

## 事業（◆新規、◇既存）

### ◆スポーツが輝くまちづくり事業

- ・スポーツの強化・突出した種目の創出のためのスポーツ特待生等の制度創出
- ・プロスポーツ選手等による指導会の開催

### ◆農の魅力ふれあい事業

- ・市民農園を教室にした6次産業の体験学習会（小学生～大学生等）

### ◆特別授業クラブ事業

- ・著名人等を招待し授業を行う

### ◇スポーツの振興と健康づくり対策

- ・体育協会やかがみいしスポーツクラブなどのスポーツ関連組織の育成、鏡石駅伝
- ・ロードレース大会などのスポーツ関連イベントの開催などにより、スポーツの振興と健康づくりを推進する

**施策－３．若い世代が住みたくなる、来たくなる環境づくりを進める**

景観、お洒落やファッション、芸術・文化など、若い世代にとって関心が高い分野に力を入れて、町をイメージアップし、魅力を高めることにより、若い世代が住みたくなる、来たくなる環境づくりを進めます。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①魅力 UP イベントの来場者数 (人/年)	500	1,000
うち、あやめウォーク実施回数、来場者数 (件)	3	3
(人)	500	600
うち、新規事業によるイベント (人)	0	400

**事業（◆新規、◇既存）**

**◆若者が住みたくなる町、魅力 UP 事業**

- ・景観づくり、お洒落なまちづくり（カフェ・スイーツ etc）、芸術・文化による町のイメージアップ、子どもだけでなく若い世代も楽しめる公園やスポーツ施設の整備、買い物やレジャーが楽しめるまちづくり

#### 施策－４．豊かな自然や農業のフィールドを提供した若い人の出会いの場づくりを進める

豊かな自然や農業のフィールドを提供した若い人の出会いの場をつくることで、未来に向けて共に生きる創造的カップルがたくさん生まれ、若い世代が注目する町をつくりまします。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①出会いの場への開催回数、結婚成就件数（回/年） （組）	0 0	2 3～5
②若者が集うサークルの結成数（団体）	0	2

#### 事業（◆新規、◇既存）

##### ◆婚活イベント事業

- ・20～30代地元就労者（自営、地元企業、農業者）の婚活を支援
- ・特に農業においては、男女のグループで、農産物を栽培～収穫まで行い、長期間一緒に関わることで、コミュニケーションを図ることで結婚に結び付けられるよう支援する

##### ◆出会いの場提供事業

- ・同窓会の支援、社会人サークル、若者の集まるスポットを作るなど、出会いの場を提供する

## 基本目標 2.

### 町の魅力を高め、アピールすることでのぎわいを生み交流を盛んにする

整備された学校や体育館、公園など自慢の施設を活用し、岩瀬牧場や田んぼアートなどまちづくりの魅力スポットや資源を活かし、さらに磨きをかけて内外にアピールすることなどにより、多くの人を呼び込んでにぎわいを生み交流を盛んにします。

数値目標		基準値 (H27)	目標値 (H31)
①交流人口	(人)	65,000	100,000
②町のHPへのアクセス数	(回/年)	111,117	150,000

### 施策 - 1. 既存施設を有効に利用するとともに、町の魅力を発信する新たな施設を整備する

鏡石ならではの水準の高い環境（学校等の公共施設、体育施設）を有効に利用するとともに、町の農産物の特産品を販売する新たな施設を整備するなど、町の魅力を内外に発信します。

数値目標		基準値 (H27)	目標値 (H31)
①耐震改修により長寿命化された施設の数、割合	(施設)	18	19
	(%)	94.7	100
②町の魅力施設の設置	(施設)	0	1

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆公共施設魅力化事業

- ・比較的新しく、子育て環境も整っている小学校等の公共施設を町内外へPRし、魅力ある施設への改修を進める

#### ◆町の魅力施設設置事業

- ・農産物販売、6次化商品の販売、町の情報の発信等の機能をもつ町の魅力施設を設置する

#### ◇公共施設等総合管理計画策定事業

- ・公共施設の大量更新や人口減少等による公共施設の総合的な計画を策定する



## 施策－２．町の魅力資源・イベントを内外へ発信・PRし、人を呼び込む

古くからの町の象徴である岩瀬牧場や近年の試みである田んぼアート、自慢の体育施設などを活用した集客イベントなどを実施し、町の魅力資源・イベントを内外へ発信・PRし、来町者に対しやさしいまちづくりを行うことで人を呼び込みます。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①田んぼアート等集客イベント開催数、来場者数 (回) (人/年)	2 16,943	3 30,000
②シティプロモーション※の実施回数 参加者数 (回) (人/年)	1 150	2 300

※6次化新商品試食会、スポーツ施設利用イベント等

## 事業（◆新規、◇既存）

### ◆シティプロモーション事業

- ・歴史ある岩瀬牧場とタイアップ・連携しシティプロモーション事業を展開する（あやめウォーク等のイベント開催、6次化商品の開発・販売）
- ・田んぼアートの継続と発展的展開
- ・田んぼアート、『牧場のあーさー♪』に関連した商品の開発・販売
- ・身近なポケットパークや田んぼアートをデザインとしたモニュメント等の整備
- ・鳥見山陸上競技場、サッカー場を活用した集客イベントの開催、大会での町内業者の出店、合宿所の設置等
- ・歩行者等への案内表示の充実、貸し出し自転車のPR等

### ◇観光振興事業

- ・魅力あるまちづくり事業、観光協会事業、地域振興事業など、観光振興事業の推進を図る

### ◇地域イベント広報事業

- ・地域でのお祭り・伝統行事・イベントに関する広報を行う

**施策－３．町の産業の活性化と新規産業の誘導を図り、Uターン、Iターン希望者を呼び込む**

農・商・工業が連携した6次化産業の育成や、農家体験入学、町内企業と求人のマッチング（人材バンク）などを通じて、町の産業の活性化と新規産業の誘導を図り、Uターン、Iターン希望者を呼び込みます。

数値目標		基準値（H27）	目標値（H31）
① 6次化産品の創出件数	（件/年）	0	2～3
② 町の魅力施設（物産販売等）の設置	（件/年）	0	1
③ 農家体験入学制度の利用者数	（人/年）	0	5
④ 企業誘致優遇策の応募件数	（件/年）	47	60

**事業（◆新規、◇既存）**

**◆農・商・工業が連携した6次化産業の育成事業**

- ・ 県立岩瀬農業高校の加工技術を活かした6次産業化の開発・育成
- ・ 政府機関や農業関係施設、公的機関（県立岩瀬農業高校と連携した農業学校・施設等）の誘致を行い、民間・企業・大学等と連携したまちづくり
- ・ 農家自身のネット販売等の直売方式を支援
- ・ 町のブランド米を使用した飲食店に対し、材料費を助成
- ・ 特化した作物の生産（オンリーワン）の創出
- ・ 町の魅力施設（物産販売等）の設置

**◇農業支援事業**

- ・ 町の中心的な産業である農業（水田、野菜、青果、畜産など）を、経営面、基盤面、人材育成面など多方面から支援する

**◇農産品風評被害対策、放射線量検査事業**

- ・ 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う風評被害対策としての農作物の安全・安心の消費者向けPR及び、土壌汚染調査及び農作物放射能検査を実施する

**◇新たな企業を誘致する企業誘致事業**

**◇既存事業所の経営支援、労働環境の向上対策**

- ・ 中小企業制度資金の利子補給、震災対策等資金の利子補給などの経営支援を行うとともに、労務改善協議会の実施する活動を通じた労務改善事業の推進を図る

◇**企業誘致推進対策**

- ・既存工業団地のPR等による企業誘致の推進、鏡石駅東第1土地区画整理事業区域内への企業誘致、誘致企業に対する誘致奨励金の支給など、企業誘致を推進する

◇**既存商店街の再生と活性化対策**

- ・小企業無担保無保証人融資制度、街路灯管理組合運営事業、商工会運営事業など、既存商店街の再生と活性化を図る

◆**町内雇用確保事業**

- ・町内企業と求人のマッチング（人材バンク）を図る
- ・有休農地を活用し、新規農業者紹介事業
- ・農家住居、農機具貸し出し
- ・「農業の技術を教わりながら一人前の農業者（稼げる農業者）になっていけるような「農家体験入学制度」の実施
- ・区画整理事業地内への企業進出による雇用創出

◇**地域リーダー発掘・育成事業**

- ・地域リーダーの発掘と育成のための情報収集と提供などを行う

### 基本目標 3.

## 日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、定住条件を整える

日々の暮らしにおける安全性や利便性を高め、町民がいつでも安心して暮らすことができ、これからもずっと住み続けることができるような定住条件を整えます。

数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
①生産年齢人口の転入超過数 (人)	17	29
②商業販売額 (億円)	121	150

### 施策 - 1. 町民のだれもが利用できる安全で便利な交通環境を整える

鉄道駅を中心にコンパクトな市街地を形成している町の形態を今後も継承し、この特性に合わせて道路網や駅・公共交通網を整備することで、町民のだれもが利用できる安全で便利な交通環境を整えます。

数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
①町内周遊バスの利用者数 (人/年)	108	240 (月2回×10人×12か月)
②駅駐車場の設置台数 (台)	82	120
③JR 鏡石駅の利用者数 (人/年)	314,995	330,000

### 事業 (◆新規、◇既存)

#### ◆周遊バス、デマンドバス運行事業

- ・子ども、学生、高齢者等のために町内周遊バスを運行し、交通の利便性の向上を図る

#### ◆駅周辺の環境整備事業

- ・駅東側に駐車場を整備するなど、駅前広場・駅東広場など駅周辺の環境を整備し、鉄道の利用促進を図る

#### ◇道路ストック総点検、橋梁長寿命化修繕事業

- ・既存の道路や橋梁を計画的に修繕、補修し、道路交通の安全を確保する

#### ◇都市計画道路北原・不時沼線新設工事

- ・良好な市街地形成を図るとともに、豪雨による雨水対策を実施する

◇**スマート I C 利用促進事業**

- ・ 24 時間化に向けた利用促進を図る

◇**公共交通機関の維持・充実**

- ・ 鉄道運行の維持・充実に係る要請、地域路線バス運行維持対策など、公共交通機関の維持・充実のための事業を推進する

**施策－２．生活面での危険性を低減し、安心して暮らせるまちづくりを進める**

防災面や交通事故はもとより、防犯や子供の安全など、生活面での危険性を可能な限り低減し、安心して暮らせる町にします。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①犯罪認知件数の減少 (件/年)	115	100
②交通事故、踏切事故の人身事故発生件数 (件/年)	48	30
③地域防犯組織の設置数、パトロール実施回数 (団体) (回/年)	4 52	4 60

**事業（◆新規、◇既存）**

**◆安心・安全まちづくり事業**

- ・夜間の安全を確保するために、暗い夜道に防犯灯を設置する
- ・子どもの安全の確保のため、通学路安全対策や地域の見守りの強化を図る
- ・交通安全面や災害時の通行確保の面から踏切の拡幅を行う
- ・段差の少ない歩道、狭い歩道の拡張整備を行う

**◇犯罪防止の都市空間づくり事業**

- ・犯罪抑止効果を考慮した都市施設（道路・公園など）の整備を推進する

**◇都市計画道路笠石・鏡田線歩道工事**

- ・狭い歩道を広げて、自転車歩行者道を整備する

**◇緑地環境の維持管理**

- ・町民の安らぎと憩いの場として適正な維持管理に努める
- ・ふれあいの森公園内の下刈り、枝打ち、花木の植栽を行う

### 施策－３．買い物がしやすく、生活が便利なまちづくりを進める

日常生活に必要な物を手に入れるための買い物に対する支障を取り除いたり、楽しみのための買い物の場を新たにつくるなど、買い物を通じて生活に便利なまちづくりを進めます。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①新規商業施設等立地件数 (件)	0	2

#### 事業（◆新規、◇既存）

##### ◆買い物弱者等支援事業

- ・買い物弱者対策（トラックで肉、魚などを移動販売）等のおでかけ支援

##### ◆駅東商業施設等の誘致事業

- ・駅東に商業施設の誘致を行う

### 施策－４．効率的できめ細やかな行政サービスを実施する

庁舎機能を更新し、町民のために行政窓口を集約するなど、効率的できめ細やかな行政サービスを実施します。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①窓口サービスが良くなったという町民の意見数 (件/年)	0	10

#### 事業（◆新規、◇既存）

##### ◆庁舎改修事業

- ・庁舎の改修・増築等により、住民サービスの向上を図る

##### ◇広報広聴の充実

- ・広報かがみいし、声の広報、鏡石町公式ホームページ・フェイスブック・ツイッターの活用、子ども議会の開催などを通じて、広報広聴の充実を図る

### 施策－５．健康長寿のまちづくりを進める

健康づくりを通じて、いきいきと健やかな暮らしができ、高齢者も元気に社会参加ができる健康長寿のまちづくりを進めます。

また、元気な高齢者を呼び込み、コミュニティ活動やイベントなど、様々な社会参加を通じて、町の活性化を図ります。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①スポーツ祭、敬老会等の高齢者参加イベントの開催 件数、参加者数 (回) (延人/年)	91 1,888	150 2,831
②サロン開設数 (か所)	3	13
③がん検診受診率 (%)		
胃がん	25.2	50
肺がん	39.6	50
大腸がん	28.0	50
子宮頸がん	25.3	60
乳がん	25.9	60
④特定健診受診率 (%)	38.7	50
⑤特定保健指導利用率 (%)	12.0	50
⑥運動習慣者の割合 (%)	30.7	35

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆健康・福祉施設設置事業

- ・健康・福祉施設などを設置し、健康長寿のまちづくりの推進を図る

#### ◇健康増進事業

- ・生活習慣病をはじめとする疾病予防のための健康管理や健康増進、体力づくりなどを推進する

#### ◆感染症対策事業

- ・各種の予防接種について、国の判断基準を踏まえて、集団・個別接種を適切に判断して実施する

#### ◇地域医療推進事業

- ・医療機関の充実を図る



◆**元気な高齢者支援事業**

- ・ 社会福祉協議会と連携して高齢者のつどいの場であるサロンの開設および活動支援を行う

◇**ハッピーイートプログラム（高齢者食生活改善訪問）事業**

- ・ 食生活における問題点の抽出と改善に必要な指導、情報提供を行う

◇**介護保険・介護予防給付・地域支援事業の提供**

- ・ 第6次介護保険計画の計画実行及び、介護サービスの給付を行う
- ・ 介護状態の予防を図り、地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う

◇**高齢者生きがい対策事業**

- ・ 老人クラブ連合会、シルバー人材センターなどの活動に対する経費の一部を補助する

## 基本目標 4. 住みやすい住宅地を形成し転入増を図る

利便性が高く良質な住宅地を手ごろな価格で新たに提供する一方、空き家・空き店舗など、既存住宅等の活用により町の住宅地環境をきれいに改善するなどにより、住みやすく心地よい住宅地を形成し、転入増を図ります。

数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
①転入増 (人/年間)		過去5年のピーク 500を回復 (H21年 501)
②人口の転入超過数 (人)	17	34

### 施策－1. 駅東に通勤に便利で優良な住宅・宅地等の供給を促進する

他市に比べ地価が安い利点を生かし、「駅に近く、手ごろな価格」をキャッチフレーズに、駅東に通勤に便利で優良な住宅・宅地の供給を促進します。また、商業施設など活気やにぎわいを生む施設の立地も誘導します。

数値目標	基準値 (H27)	目標値 (H31)
①新規住宅地（鏡石駅東第1土地区画整理事業地区） の整備区画数 (区画)	2	84

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆駅東土地区画整理事業の推進

- ・鏡石駅東第1区画整理事業による優良住宅地、事業用地の分譲を行う

#### ◇定住促進関連事業

- ・鏡石町定住促進住宅への入居の促進を図る

## 施策－２．新たな転入者等に対し、居住の場の確保について支援する

住宅を新築する転入者や新規農業者に対するおためし居住など、新たな転入者等に対し、居住の場の確保について支援します。特に、教育資金等の負担が大きい子育て世代に対する支援を行います。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①住宅着工戸数 (戸/年)	55	65
②新規住宅取得者やおためし居住事業への助成件数 (件/年)	0	5
④3世代同時転入（近居）推進事業を活用して居住した件数 (件/年)	0	5

## 事業（◆新規、◇既存）

### ◆新規住宅取得者への支援事業

- ・新規に町内に住宅を新築する転入者に対する助成、税の減免、新規居住者プレミアム商品券発行等による支援を行う

### ◆新規農業者に対する鏡石町おためし居住事業

- ・新規農業者に対して居住の場を確保し、新規農業者の確保及び定住の促進を行う

### ◆三世代同時転入（近居）推進事業

- ・三世代同居・三世代近居等の推進を行い、定住の促進を図る

**施策－３．既存住宅等を居住や仕事の間等に活用するとともに、町の景観をきれいに改善する**

空き家・空き店舗など、既存住宅等を活用し、新規転入者や起業者等に提供するとともに、町の景観をきれいに改善します。

数値目標	基準値（H27）	目標値（H31）
①空き家バンク制度の創設	なし	制度創設

**事業（◆新規、◇既存）**

**◆空き家対策事業**

- ・空き家活用のための実態調査、空き家情報収集、情報提供、空家バンク制度の創設、土地や家の買取り
- ・起業者に対し、無償で空き家を提供
- ・「福島県空き家・ふるさと復興支援事業」の活用

**◇清潔で美しい環境づくりの対策**

- ・公害対策、不法投棄対策、環境美化運動などを通じ、清潔で美しい環境づくりを進める

## 基本目標 プラスワン 連携中枢都市圏への推進

郡山市をはじめとする近隣の市町村※と連携し、人口急減・超高齢社会においても、一定の圏域人口を有しつつ活力ある社会経済を維持するための、経済成長のけん引などの機能を備えた拠点の形成を図ります。

(※郡山市、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町の4市7町4村)

### 施策－1. 圏域全体の経済成長のけん引

産業クラスターの形成及び新産業の創出に向けた支援を行うとともに、風評被害を払しょくする商品開発を進め、圏域全体の経済成長をけん引します。

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆産業クラスターの形成及び新産業の創出

- ・圏域内に多数立地している産学金官施設の連携を生かした新産業の創出や新技術・新商品開発等の支援を実施する

#### ◆風評被害を払しょくする商品開発

- ・豊富な地域資源を生かし、6次化を見据えた新たな産業ネットワークの構築を推進するなど、風評被害を払しょくする新商品の開発を「オール福島」で進める

## 施策－２．高次の都市機能の集積

高度な医療サービスをはじめとする高次の都市機能の集積を図ります。

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆医療体制の充実

- ・医療ニーズの増加・多様化に対応するため、住民に身近な「かかりつけ医」の定着や病診連携を推進するとともに、高度な医療サービスを提供する上での課題を調査・検討していく

## 施策－３．圏域全体の生活関連機能サービスの向上

生活機能の強化に係る政策分野を強化するとともに、住民サービス向上へ向けたICT インフラ整備を進め、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図ります。

### 事業（◆新規、◇既存）

#### ◆生活機能の強化に係る政策分野

- ・多様化するニーズに応えるとともに、住民の心身の健康増進を図るため、社会教育施設や福祉施設等、公共施設の共同利用を検討する

#### ◆住民サービス向上へ向けた ICT インフラ整備

- ・行政手続き等の電子化推進や ICT を活用した新しいサービスの調査・研究を行い、行政サービスの高度化を図る

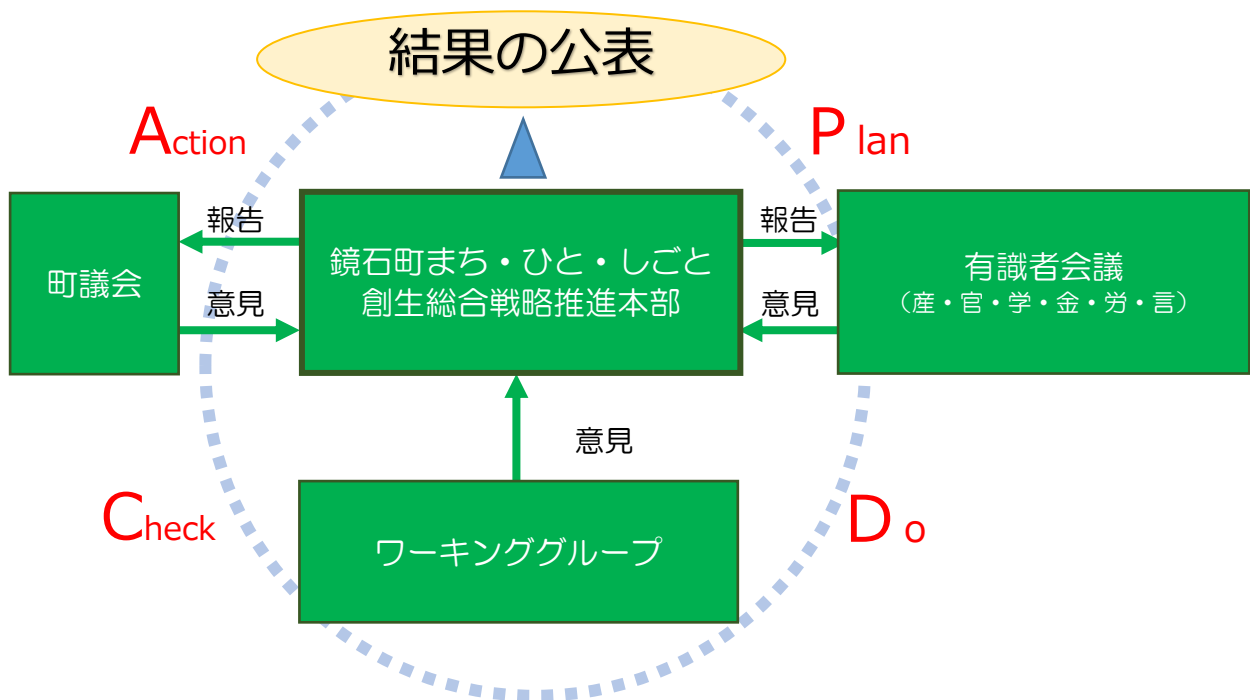
## 5. 効果検証の仕組みづくり

鏡石町総合戦略で示した基本目標を実現するため、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略を改訂するといった「PDCA サイクル」による客観的な効果検証を実施していきます。

総合戦略の効果検証に際しては、その妥当性・客観性を担保するため、総合戦略の策定プロセスで設置した有識者会議及び、鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部を発展的に活用し、町議会も含めて計画策定から施策・事業の実施までの5年間のプロセスで各組織が継続的にかかわりをもって推進していきます。

なお、このしくみは、次年度より策定を開始する次期総合計画とも関連付けた運営を図ります。

### ○効果・検証の仕組み



組織名	役割	構成
推進本部会議	【方針決定機関】 ・総合戦略の改訂等の方針を策定 ・町議会及び有識者会議へ報告し、意見を聴取 ・ワーキンググループから効果・検証結果を聴取	庁内委員
推進本部 ワーキング グループ	・施策・事業の効果の検証 ・本部会議へ検証結果を報告	庁内若手職員
有識者会議	・本部会議から報告された効果・検証結果、総合戦略の改訂方針等について検討 ・検討結果を本部へ提言	産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア (産官学金労言)等





**地域創生総合ビジョン  
鏡石町まち・ひと・しごと創生総合戦略**

**平成28年3月**

**鏡石町総務課**

**〒969-0492 福島県岩瀬郡鏡石町不時沼 345**